

●読売新聞・NCNなどに7月27日開催の「第2回 多鯰ヶ池手づくりいかだレース」の様子が紹介されました。

紹介日時 読売新聞 8月4日 「手作りいかだ13チーム競う」の見出しでイベントの様子が紹介されました。

鳥取砂丘近くの多鯰ヶ池(鳥取市福部町湯山)で、第2回多鯰ヶ池手づくりいかだレースが開かれ、参加者が懸命にオールをこ

鳥取 手作りいかだ 13チーム競う

いでゴールを目指した。地元住民らでつくる「浜湯山・多鯰ヶ池活性化委員会」が昨年から開催。今回は1チーム3、4人ずつ計



手作りのいかだでゴールを目指す
参加者(鳥取市の多鯰ヶ池で)

13チームが同池北側の岸からスタートして折り返す約600メートルのコースで競った。

いかだは、農作物を入れるプラスチック製の箱の内側に樹脂製タンクを仕込んだものや、発泡スチロールをいかだの両端に配してバランスを保つ工夫をしたものなどさまざま。立ちあがってこいだり、水の中に入ってバタ足でいかだを押しつたりと、各チームが思い思いの作戦を繰り出した。

6分24秒で優勝した「チーム智頭病院」は、ネットで包んだ500個以上のペットボトルにベニヤ板をのせたいかだで出場。代表の横原義徳さん(41)は「メンバー4人が結束し、いかだも安定していた。来年も優勝したい」と話していた。

紹介日時 NCN 7月29日「まちネタ」でイベントの様子が紹介されました。



優勝チーム：智頭病院チーム

